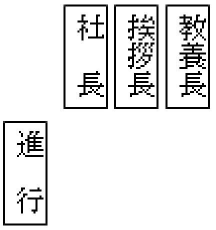
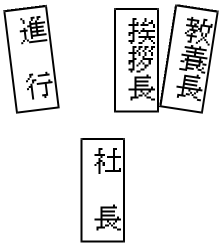
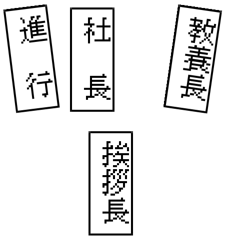
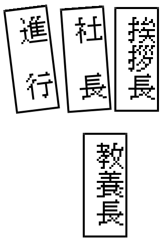
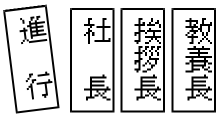
会計人の教養

2

学校法人髙橋学園
専門学校 東京CPA会計学院 熊本校

朝礼実習の進め方

	進行役：①　一歩前へ出る ②　目線を全員に配る ③　15 度の黙礼 ④　「開始 5 秒前です。姿勢を正してください。」 ④　元の位置に素早く戻る ＝5 秒後＝ ⑤　15 度の黙礼 ⑥　「東京ＣＰＡ会計学院、○○△△（フルネーム）、進行いたします。」 「○月○日○曜日、ただいまより朝礼を始めます。」 「朝の挨拶、○○社長！」 ⑦　元の位置に素早く戻る
	社長役：①　素早く一歩前（輪の中央）に出る。 ②　目線を全員に配る ③　「みなさん！」 全　員：　「おはようございます（30 度の礼）」 社長役：④「今日のスピーチ」 全　員：⑤　15 度の黙礼 社長役：　元の位置に素早く戻る
	進行役：①　一歩前へ出る ②「挨拶実習、リーダー○○さん！」 挨拶長：①「はい！」 ②「挨拶実習を始めます。お願いします！（30 度の礼）」 全　員：「お願いします！」 挨拶長：①「おはようございます！」 ②「おねがいします！」　各３回繰り返す ③「ありがとうございました」 ④「失礼します」 ⑤「以上で挨拶実習を終わります！ ありがとうございました（30 度の礼）」 全　員：「ありがとうございました(30 度の礼)」 挨拶長：元の位置に素早く戻る

	進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」 教養長：①「はい！」 進行役：　元の位置に素早く戻る 教養長：「お願いします！」 全　員：「お願いします！」 教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ②「〇ページをお開き下さい」 ③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」 ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 ④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」 全　員：「〇〇〇をしましょう！」 教養長：「ありがとうございました（30 度の礼)」 全　員：「ありがとうございました（30 度の礼)」 教養長：　元の位置に素早く戻る
	進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました（30 度の礼)」 全　員：「ありがとうございました（30 度の礼)」 進行役：「解散します！解散！」 全　員：「はい！」

会計人の教養 2

ひとりひとりが経営者

1 土 幻の二日ひじき 1
3 月 バーンアウトシンドローム 2
4 火 在宅医療 3
5 水 ＡＩ人材 4
6 木 ＯＥＣＤ 5
7 金 インフルエンザ 6
13 木 イギリスＥＵ離脱 7
14 金 球技大会 8
17 月 ジオパーク 9
18 火 通潤橋 10
19 水 グリム童話 11
20 木 障がい者雇用水貸 12
21 金 さとうきび 13
22 土 暗号資産 14
24 日 キャッシュレス社会 15
26 月 ストレスマネジメント 16
27 火 心の貧困 17

28 金 読書のすすめ

29 土 消費税増税

18

19

2020 FEBRUARY

令和二年 如月［きさらぎ］

第6巻2号（通算56号）

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

土曜日

2月 1日 幻の二日ひじき

みなさんは、大分県姫島で採れる「幻の二日ひじき」をご存知でしょうか。一年でわずか二日だけの漁期に、やわらかな新芽のみを摘み、天日干しで仕上げます。

本来ひじきは、三月から四月に採取するのが一般的で、茎が固く「芽ひじき」と呼ばれています。それに対して「幻の二日ひじき」は、シャキシャキとした食感で、爽やかな海藻の風味がある新鮮な味わいが特徴です。

採取時期が日本一であるのは、島のおばあちゃんたちが、「如何に美味しくひじきを食べるか」ということを追求した結果、十二月に採取されるようになりました。

そして、この「幻の二日ひじき」は、「日本ギフト大賞二〇一五」や「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」という数々の賞を授賞しました。一度口にすると、他のひじきは食べられないくらい高品質で美味しいと評判です。

ひじきは、ミネラルと食物繊維が豊富なため、女性にはうれしい食材です。健康志向が高くなっている今、「幻の二日ひじき」を食べてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆**「幻の二日ひじき」を食べてみましょう。**

月曜日

2月 3日 バーンアウトシンドローム

みなさんは、「バーンアウトシンドローム」という言葉をご存知でしょうか。

精神心理学者ハーバート・フロイデンバーガーが、一九七四年に初めて用いた造語で、日本語では「燃え尽き症候群」と呼ばれています。

バーンアウトとは、燃え尽きるという意味で、それまで一つの物事に没頭していた人が、心身の極度の疲労によって、あたかも燃え尽きたかのように意欲を失い、社会的に適用できなくなってしまう状態をいいます。

症状としては、朝起きられない、職場に行きたくない、アルコールの量が増える、イライラが募るなど、仕事が手につかなくなったり、対人関係を避けたりするようになります。

バーンアウトシンドロームは、急に発症するものではなく、段階を経て、徐々に進行するものです。十分な睡眠を取ったり、気分転換を行ったりすることで、ストレスを溜め込まないようにしましょう。

今日の心がけ◆**余裕のある生活を送りましょう。**

火曜日

2月 4日 在宅医療

みなさんは、在宅医療という言葉をご存知でしょうか。

在宅医療とは、体の機能が低下して通院することが難しくなった方が、病院でなく自宅で治療することができる医療活動です。

これにより、ガンなどの治療が困難な病気を患っていたとしても、本人やその家族が望めば、自宅でストレスの少ない落ちついた環境で治療ができるというメリットがあります。

しかし、デメリットもあり、特に不安なものが緊急時の対応です。入院治療では、病院のスタッフや機材が揃っているため、すぐに対応することが可能ですが、在宅医療だと迅速な処置が難しくなり、家族などの協力が必要不可欠です。

物事には必ず、メリットとデメリットがあります。それらを理解して、いかにその制度を上手に活用するかが大切です。

今日の心がけ◆**物事の両面を見比べましょう。**

水曜日

2月 5日 AI人材

みなさんは、AI人材をご存知でしょうか。

AI人材とは、「人工知能」に関する研究・開発やその導入を進める上で必要とされる人材のことです。

現在ではこの高度なAIを作り出す人材が必要とされ、AI人材の育成に力を入れています。しかし、作り出す人(生産者)が増加しても、それに対応できるスキルを持った消費者がいなければ均衡を保つことはできません。

このように、本当に社会に必要とされる人材は、問題を作り出すだけではなく、その問題に対応できるスキルがあり、解決策を提示できる人材です。

これは私たちの学習を通しても養うことができます。それは、一つひとつの問題と向き合いその本質を理解して、適切な会計処理(解決策)で答えを出す。この一連の流れが社会に必要とされる人材への近道ではないでしょうか。

今日の心がけ◆**問題の本質を理解しましょう。**

木曜日

2月 6日 OECD

みなさんは、OECD（経済協力開発機構）をご存知でしょうか。

第二次世界大戦後の一九四八年、疲弊しきったヨーロッパ経済に対し、アメリカ合衆国によるマーシャル・プラン（経済活性化と救済）が推進され、その専門機関として、ヨーロッパの十六か国が参加し、OECDの前身である、OEECを設立しました。

その後、ヨーロッパのみならず、世界経済の発展を目的としてOECDに改組され、日本、オーストラリアなどの加盟国を増やし、現在に至っています。

OECDは、経済成長および雇用ならびに生活水準の向上を達成し、「経済成長の発展に貢献すること」「発展途上国の経済の健全な拡大に貢献すること」「世界の貿易の多角面かつ無差別な拡大に貢献すること」の三つを目的として活動が行われています。

私たちも簿記を通して世界経済に関与し、OECDのように、経済成長の一助を担っていきましょう。

今日の心がけ◆**経済成長に貢献できる会計人になりましょう。**

金曜日

2月 7日 インフルエンザ

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。季節性インフルエンザには、A型、B型、C型の三種類があり、日本では十二月末あたりから流行し始め、二月、三月にピークを迎え、徐々に減少していきます。

症状は、発熱、頭痛、全身の倦怠感、筋肉痛、咳などが一週間ほど続きます。また、場合によっては合併症で死に至ることもあります。

インフルエンザ対策に一番有効な方法は、十分な睡眠をとること、手洗い・うがい、マスク着用、そして室温と湿度の管理です。インフルエンザにかからないためにも、正しい予防法を身につけ、感染を防ぐことが重要です。

二月、三月は、年度を締めくくる大事な期間になるので、病気にかからない対策をして、有意義な時間を過ごしましょう。

今日の心がけ◆**インフルエンザ対策をしましょう。**

木曜日

2月 13日 イギリスEU離脱

みなさんも、一度はニュースなどで、イギリスのEU離脱問題を耳にしたことがあるのではないでしょうか。
この問題の発端は、二〇一六年頃のイギリス国内への移民急増問題です。EU圏内の国々は、人の移動が自由に行えるため、経済状況が悪くなったEU圏内の他の国から、様々な人がイギリスへ移民してきました。
その結果、行政サービス等が追いつかなくなり、国民の不満の声を受けて、、EU離脱に向けた国民投票へと発展したのです。
国民投票の結果は、「離脱」が多数でしたが、離脱に向けた法律の整備が進まないこと、その影響は世界に及ぶため先送りになっていました。また、残留派も大多数存在しており、国民の間でも考えがまとまらずにいたのです。
当初、諸外国はEUに残留すると予想していましたが、その予想は外れ、ついにイギリスの離脱が確定しました。今後の動向に注目しましょう。

今日の心がけ◆**今年のイギリスに目を向けましょう。**

金曜日

2月 14日 球技大会

ＣＰＡでは毎年年度末に、球技大会が開催されます。

野球、サッカー、バレーなど、多くの球技がありますが、ＣＰＡではバスケットボールをすることが恒例となっています。

スポーツが得意・不得意にかかわらず、体を動かすことは健康面でも精神面でも良い効果があるため、学生にとって、非常に有意義なイベントです。

しかし、このようなイベントの裏には、運営担当の学生による、綿密な準備が行われていることを忘れてはいけません。開催場所の予約、チーム分け、当日の進行などを行い、忙しい中、私たちが楽しめるような工夫を施してくれています。

私たちが楽しめる様々なイベントの裏には、多くの方々の努力があります。それを忘れずにしっかり感謝して、全力で楽しみましょう。

今日の心がけ◆**見えない支えに感謝しましょう。**

月曜日

2月 17日 ジオパーク

ジオパークとは、「地球・大地（ジオ・Geo）」と「公園（パーク・Park）」とを組み合わせた言葉です。地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所を意味し、ジオパーク協会によって認定されます。

私たちは、大地に育つ生態系の中で、文化や産業を築き生活しています。ジオパークでは、これらの仕組みやつながりを実感することができます。

例えば、山や川を見て、その成り立ちと仕組みに気づくと、今まで何も思わなかった景色が変わって見えてきます。

また、その景色が、何万年、何億年という途方もない年月をかけて作られてきたことを知れば、私たちの暮らしは地球活動なしには存在しえないこともわかります。

ジオパークは、そのような当たり前に気づかせてくれる素敵な場所です。ぜひ、みなさんも、ジオパークに足を運び、新しい発見をしてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆**ジオパークへ行きましょう。**

火曜日

2月 18日 通潤橋

みなさんは、通潤橋をご存知でしょうか。通潤橋は、熊本県上益城郡山都町にある日本最大級の石造りアーチ水路橋です。

通潤橋のある白糸台地は昔から水の便が悪く、住民は長らく水不足で困っていました。そこで、地元の総庄屋である布田保之助が中心となって水路橋の計画を進め、肥後の石工職人たちの技術を結集することで、江戸時代の一八五四年に完成しました。

通潤橋は、長さが七十五・六メートル、高さが二十・二メートルあり、橋より高い白糸台地へ水を送るため、サイフォンの原理が応用されています。高度な石工技術とバランスのとれた美しさが高く評価され、一九六〇年に国の重要文化財に指定されました。

通水管に詰まった堆積物を取り除くため、年に一度放水が行われていましたが、農業などに支障がない時期には、観光放水が行われています。

二〇一六年の熊本地震の影響により、現在は放水が中止されていますが、今年四月より再開する予定です。時間を作って、大迫力の放水を観に行きましょう。

今日の心がけ◆**先人たちの苦労や努力に目を向けましょう。**

水曜日

2月 19日 グリム童話

誰でも一度はグリム童話を読んだことがあるのではないでしょうか。赤ずきんちゃんや白雪姫、ヘンゼルとグレーテルなど有名なお話ばかりで、ディズニー作品の題材にもなっています。

グリム童話は、ドイツのヤーコプとヴィルヘルムのグリム兄弟が、古くから語り継がれてきた物語などを編纂した民話集です。

グリム兄弟がグリム童話を刊行した頃、ドイツはナポレオン率いるフランスの支配から解放され、ドイツ連邦という連合体を結成しました。

ドイツ民族としての連帯感を作り出し、その統一を実現するべく、グリム兄弟は民話や童話によって、ドイツ人としての自覚と誇りを獲得することを目指しました。

今では世界中の言語に翻訳され、日本だけでなく、世界中の人々から愛されています。誰でも何かのために努力することで、多くの人に影響を与えられるような力を持っています。私たちも自分に自信をもって努力をしていきましょう。

今日の心がけ◆**周囲に良い影響を与えましょう。**

木曜日

2月 20日 障がい者雇用水増し

みなさんは、障害者の雇用について定められたルールをご存知でしょうか。これは厚生労働省が、障害者が能力を存分に発揮でき、生きがいを持って働けるような職場づくりのために定めているものです。

その中の一つに、従業員が一定数以上の事業主は、従業員に占める身体障害者・知的障害者・精神障害者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があります。

平成三十年八月、中央省庁が雇用する障害者数を水増ししていた問題が起きました。水増しは内閣府や総務省、国土交通省など全体の約八割にあたる二十七の機関で発覚し、法務省や財務省、気象庁、公正取引委員会などでも見つかりました。

これにより、雇用の旗振り役である中央省庁自らが数値を偽っていたことになり、制度の信頼が大きく揺らぎました。

「人の振り見て我が振り直せ」というように、何か物事を行うときは、まず自分ができているのかを見つめ直すことが大切です。

今日の心がけ◆**自分の行いを見つめ直しましょう。**

金曜日

2月 21日 さとうきび

砂糖は私たちの食生活に欠かすことのできない食品です。その砂糖の原料の一つにさとうきびがあります。

さとうきびは、強風や水不足に対して大変強い作物です。そのため、台風や干ばつなどの厳しい自然環境にある鹿児島県南西諸島及び沖縄県においては、欠かすことのできない基幹作物であり、農家の約七割の方々が栽培しています。

光合成を行う能力が非常に高く、地球温暖化の要因といわれる、空気中の二酸化炭素を多く吸収するので、地球環境にも有効な作物といわれています。

こうした利点を最大限に活用すべく、砂糖を生産するだけでなく、副産物を含めて様々な利用法とそれに適した品種を提供する「多用途利用」が提唱され、現在も研究が進められています。

このように、用途が一つしかないと思われていたモノでも、他の面からみると使い道がたくさんあるものです。みなさんも、いろいろな物事に対して、多方面から見つめてみましょう。

今日の心がけ◆**多方面から物事を見つめましょう。**

土曜日

2月 22日　暗号資産

みなさんは、暗号資産を知っていますか。暗号資産とは、従来の仮想通貨を含んだ、インターネット上でやりとりできる経済的価値の総称です。代表的なものとして、ビットコインやイーサリウムなどがあります。

暗号資産の魅力として、個人間の直接送金が可能なこと、手数料が無料もしくは安いこと、世界共通の単位であることが挙げられます。

暗号資産の普及は、世界中の取引をさらに便利にする可能性を秘めています。従来の仮想通貨に加え、プログラミングやアプリケーションといった、知的財産の売買にも役立つからです。

しかし、暗号資産にはパスワード紛失や情報流出などのリスクも考えられます。そのため、今まで以上の高度な専門知識が必要になることも難点です。

暗号資産は、世界を便利にする可能性がある一方、多くのリスクも存在します。可能性とリスクの両方を理解して、暗号資産を使用しましょう。

今日の心がけ◆**可能性とリスクの両方を理解しましょう。**

月曜日

2月 24日 キャッシュレス社会

現在、世界的に現金決済から電子決済へと変わり、キャッシュレス社会へと移り変わっています。しかし、世界と比較して日本はキャッシュレス化が遅れているといいます。なぜ、日本ではキャッシュレス化が進まないのでしょうか。

その要因として、日本では偽札の流通がほとんどなく、現金が信用されていることと、スマートフォンのバッテリー切れに対する懸念などが挙げられています。

また、今年開かれる東京オリンピックでは、世界各国から人が集まることから、日本政府はキャッシュレス社会へと早急に移行したいとの思惑があるようです。

私たちの身の周りには少しずつではありますが、プリペイドカードや、電子マネー、ペイペイなどが普及し始めています。

私たちも簿記会計の学習だけでなく、世の中の変化に対応できる人間になりましょう。

今日の心がけ◆**世の中の変化に対応できる人間になりましょう。**

水曜日

2月 26日 ストレスマネジメント

みなさんは、ストレスマネジメントという言葉をご存知でしょうか。ストレスマネジメントとは、ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処をしていくことです。

適度なストレスはその人のモチベーションを向上させ、行動を促進するといった前向きな役割を果たしますが、過度なストレスは人に様々な悪影響を及ぼします。

例えば、不眠・食欲不振・頭痛・倦怠感などの身体的症状や、無気力・集中力の低下・否定的思考などの精神的症状がストレス反応として表れます。

このようなストレスの対処法について、企業や学校では研修や授業が行われています。また、厚生労働省が労働者個人向けストレス対策（セルフケア）についてマニュアルを作成し公表するなど、個人とストレスとの関係を考える機会が多くなっています。

現代社会において、ストレスを感じないことは不可能に近いです。しかし、自分に合った対処法を知ることでストレスと上手に付き合い、前向きにとらえることができるようになりましょう。

今日の心がけ◆**ストレスと上手に付き合いましょう。**

木曜日

2月 27日 心の貧困

みなさんは、自分のしたいことが分からない、やる気が出ない、心が満たされないと思うことはありませんか。

こうした、衣食住に困るような物質的貧困ではなく、何か物事に満足できていないと感じる精神的貧困を、「心の貧困」と呼ぶことがあります。

特に日本は、物資的には豊かな国であるものの、先進国の中でも精神的に貧しいといわれることもあり、精神疾患や自殺者の増加、虐待や依存症など、心の貧困に起因した様々な社会問題があります。

心の貧困をなくすためには、自分の心の糧となるものを見つけることや、周囲からの愛に気づくことが大切です。そのための簡単な方法は、何事にも感謝することです。

何気なく食べている食事や学校で勉強を学べることなど、日常の中に感謝する心を持ち、心の貧困をなくしましょう。

今日の心がけ◆**周りに感謝しましょう。**

金曜日

2月 28日 読書のすすめ

みなさんが、最後に本を読まれたのはいつでしょうか。

今では、誰もが本を読める時代となりましたが、従来、「本を読む（読書）」という行為は、一部の裕福な家庭や、学者などのインテリ層しか行えない行為でした。しかし、活版印刷の登場により、書籍を大量、かつ、安価な価格で販売することが可能となり、多くの人々に本を読むことの良さを知り、本を読む人が増えていきました。

今では考えられないような歴史を持つ「読書」。この「読書」には集中力向上や、自分の知りえない情報・経験を得られるなど、数多くのメリットがあります。

しかし、近年では、スマートフォンの普及、それに伴い、電子書籍が増加するなど、様々な要因により「若者の活字離れ」や「国語力の低下」などの問題が叫ばれるようになりました。

「最後に読書したのいつだったかな？」と思ったあなた。何か本を読んでみてはいかがでしょうか。見たことのない世界に出会えるかもしれません。

今日の心がけ◆**本を読む習慣を身につけましょう。**

土曜日

2月 29日 消費税増税

税金には多くの種類がありますが、私たちの生活と密接にかかわっているのが、消費税です。この消費税が昨年十月より十パーセントへ増税されました。

消費税は所得課税中心の税制と異なり、消費活動に対し誰にでも平等に課税されます。

消費税増税は時代の流れに伴い、過去に三度行われました。今回の増税は、日本で初めて軽減税率制度やキャッシュレス還元制度が採用され、増税による消費の落ち込みをやわらげる対策が行われました。

増税に伴い、社会保障制度の充実や安定した税収の確保、被災地の早期復興などのメリットが考えられます。また、増税分の使い道として新たに、幼児教育・保育の無償化や高等教育の無償化などが挙げられています。

産業がその時代の経済状況に応じて変化するように、税制も変化し続けています。私たち学生も時代の流れを読み、行動できるようになりましょう。

今日の心がけ◆**時代の流れに適応しましょう。**